

# 網走桂陽に11得点

# 江陵初戦快勝



【旭川】第1日は15日、旭川スタルヒン球場で1、2回戦を行い、開幕戦は江陵が網走桂陽（北見）に六回コールドの11-1で圧勝、2回戦に駒を進めた。江陵はプロ注目左腕・古谷優人（3年）が先発、伸びのあるストロートを低めに集め四回まで相手打線を被安打1、無失点に抑え込み、リリーフの工藤遼太郎（2年）も大会第1号本塁打を放つなど投打で活躍した。

（内形勝也、塩原真）  
開会式では、昨年の代表校の白樺学園を先頭に、十勝支部代表の帯柏葉、江陵など出場17校が堂々と入場行進した。選手を代表してクラーク記念国際（空知）の阿部勇斗主将が「ボーイ

十勝の代表3校 堂々行進



初優勝を目標に堂々と行進する江陵ナイン

67年ぶりの甲子園出場を狙い行進する帯柏葉ナイン

2年連続の甲子園出場を目指し行進する白樺学園ナイン

◇1回戦

旭川	東実	18回 8:00
旭川	帯柏葉	20回 10:30
士別	翔雲	16回 9:00
釧路	湖陵	18回 10:30
白樺学園	クラーク	16回 11:30
遠見	緑陵	21回 13:00
北川	西輝	16回 14:00
滝川	明輝	18回 13:00
釧路	大工	17回 9:00
旭川	工大	20回 13:00
釧路	内大	17回 11:30
稚内	桂陽	18回 15:30
網走	桂陽	11
江陵	旭川	17回 14:00

江陵 50000024  
000000111

先発メンバー

打順	守備	先発	メンバー
1	投手	古谷	優人
2	捕手	古谷	方藤
3	一塁	佐藤	工藤
4	二塁	佐藤	工藤
5	三塁	佐藤	工藤
6	遊撃	佐藤	工藤
7	内野	佐藤	工藤
8	外野	佐藤	工藤
9	投手	佐藤	工藤

【1回戦・江陵-網走桂陽】6回コールド、6回2死、江陵の工藤遼太郎が右越えに大会第1号の本塁打を放ち、11-0とリードを広げる。

初回到打線爆発 古谷「70点の出来」  
○：江陵打線が初回到打線に爆発し、網走桂陽の先発・川端龍仁（2年）をマウンドから引きずり下ろした。この回に5得点、大量リードでの会心の勝利に江陵の谷本献悟監督は「選手たちが予想以上によくやってくれた」と笑みがこぼれた。打線は試合終盤の五、六回にも集中打を浴びせ、付け入

られストロート、フォーク、スライダーを投げ1失点で無難に試合を締め切った。次戦は、優勝候補の一角とされる旭川西と戦う。谷本監督は「失うものは何もないので、胸を借りるつもりで思い切りぶつかりたい」と表情を引き締めた。

準々決勝まで 全13試合生中継 OCTV

二、四回は凡退したが、五回に先頭の佐藤が右中間を破る二塁打で口火を切り、1死二、三塁で平井が2点適時中前打。さらに六回には工藤が右越え本塁打を放つなど4得点して試合を決めた。

宮川・関村組（帯南町）優勝  
男子は増田・鶴崎組（帯八千代）春夏連覇

## 全十勝中体連ソフトテニス

（9、10日・帯広の森テニスコート）  
個人戦を行い、男女とも

笑顔で戦い続け 頂点に立ち驚く 宮川・関村組  
○：「決勝までこられるとは思っていなかった。勝つてしまった」。女子優勝の宮川・関村組は驚きを隠さなかった。



上位入賞者。前列左から関村・宮川組、加藤・後列左から田川・本間組、渡辺・小田原組